

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:北海道)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)
						計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
十勝	音更町	音更町農業協同組合	土地利用型作物(麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (麦産地生産性向上) 単収が北海道の平均単収に対し120%	115.4%	110.7%	127.1%	121.5%	120.0%	132.6%	麦の単収が北海道の平均単収に対し121.5%となった。	1,981,350,000	943,500,000	-	-	1,037,850,000	平成20年3月10日			
空知	深川市	深川大豆生産組合	土地利用型作物(大豆)	品質向上	【土地利用型作物】 (大豆産地安定供給(品質向上)) 大豆の上位等級比率(1・2等比率)が98%	69.5%	15.5%	94.5%	95.8%	98.0%	92.3%	大豆の上位等級比率(1・2等比率)が26.3ポイント増加した。	16,130,000	8,065,000	-	-	8,065,000	平成19年12月25日			
石狩	江別市 千歳市 恵庭市 北広島市	道央農業協同組合	畑作物・地域特産物(馬鈴しょ他)	生産性向上	【各作物共通】 (病害虫による農作物被害の防止) ジャガイモシストセンチュウの新規発生率が0.80%未満	0.87%	0.03%	0.01%	0.00%	0.8%未満	108.7%	目標年度において、ジャガイモシストセンチュウの新規発生率は認められなかった。	(農作物被害防止施設) 車両洗浄施設 10箇所 コンテナ殺菌施設 2箇所	94,673,040	44,915,000	-	-	49,758,040	平成19年12月21日		
上川	富良野市	ふらの農業協同組合	畑作物・地域特産物(馬鈴しょ)	生産性向上	【各作物共通】 (病害虫による農作物被害の防止) ジャガイモシストセンチュウの新規発生率が0.50%未満	0.54%	0.00%	0.00%	0.00%	0.5%未満	105.3%	目標年度において、ジャガイモシストセンチュウの新規発生率は認められなかった。	(農作物被害防止施設) 車両洗浄施設一式×2箇所 コンテナ殺菌施設 1棟105.96㎡	87,570,000	41,700,000	-	-	45,870,000	平成19年10月5日		
網走	北見市 訓子府町 置戸町	きたみらい農業協同組合	畑作物・地域特産物(馬鈴しょ)	生産性向上	【各作物共通】 (病害虫による農作物被害の防止) ジャガイモシストセンチュウの新規発生率が0.55%未満	0.56%	-	0.33%	0.00%	0.55%未満	105.8%	目標年度において、ジャガイモシストセンチュウの新規発生率は認められなかった。	(農作物被害防止施設) 車両洗浄施設 2棟	52,290,000	24,900,000	-	-	27,390,000	平成20年3月14日		
網走	美幌町 津別町 大空町	美幌地方広域農業協同組合連合会	畑作物・地域特産物(馬鈴しょ)	生産性向上	【各作物共通】 (病害虫による農作物被害の防止) ジャガイモシストセンチュウの新規発生率が0.40%未満	0.42%	0.42%	0.48%	0.00%	0.40%	104.2%	目標年度において、ジャガイモシストセンチュウの新規発生率は認められなかった。	(農作物被害防止施設) スチールコンテナ高温洗浄施設 1棟	10,500,000	5,000,000	-	-	5,500,000	平成20年3月13日		
十勝	帯広市ほか (十勝全域)	十勝農業協同組合連合会	畑作物・地域特産物(馬鈴しょ)	需要に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物】 (戦略的地域の育成) 全出荷量のうち契約取引の割合が62.4%	59.4%	74.4%	74.7%	76.50%	62.4%	570.0%	全出荷量のうち契約取引の割合が17.1ポイント増加した。	(産地管理施設) 残留農薬検査機器一式	51,880,500	24,705,000	-	-	27,175,500	平成20年3月25日		
十勝	大樹町	JA大樹町種子生産部会	畑作物・地域特産物(馬鈴しょ)	需要に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物】 (戦略的地域の育成) 種子馬鈴しょの生産数量を23.0%増加	8,076t	9,114t	9,026t	7,635t	9,933t	-23.7%	種子馬鈴しょの生産数量が5.5%減少した。	馬鈴しょ茎葉処理機 5台	5,407,500	1,694,000	-	-	3,713,500	平成19年9月10日	本作業機械の導入により、馬鈴しょ茎葉処理作業に係る枯調剤の使用回数及び使用量が半減できた。 作付面積は徐々に拡大し、ほぼ目標どおりに達しているが、近年、種子馬鈴しょの需要が足踏み状態となっており、その中で平成21年度は近年まれに見る天候不順の影響を受け、単収が大幅に減り、生産量としては、目標を達成することができなかった。 生産農家数は、平成19年度の時点で目標値に達していたが、経営主死亡により1戸が減少した。 しかし、新たな作付希望農家2戸の算入予定もあり、これらに対応しながら目標達成に向けて今後も努力していく。	平成21年度は、夏期間の冷害により単収が大きく減少し、生産量は目標達成に至らなかった。 新規の作付農家も増加の向け指導が必要。
十勝	音更町	音更町農業協同組合	環境保全(小麦・てん菜・馬鈴しょ・豆類)	農畜産業の環境保全	【環境保全】 販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を20.3%増加	6.5%	25.6%	31.30%	32.7%	26.8%	129.1%	環境保全型農業に取り組む農業者の割合が26.2ポイント増加した。	浅層排水 71ha	99,105,863	40,557,000	-	-	58,548,863	平成19年12月13日		
十勝	清水町	十勝清水町農業協同組合	環境保全(小麦・てん菜・馬鈴しょ・豆類)	農畜産業の環境保全	【環境保全】 販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を5.6%増加	20.0%	20.0%	20.0%	26.4%	25.6%	114.3%	環境保全型農業に取り組む農業者の割合が6.4ポイント増加した。	石稜除去 4.2ha 浅層排水 1.9ha	5,033,280	2,396,000	-	-	2,637,280	平成19年5月30日		
十勝	帯広市	帯広市川西農業協同組合	環境保全(小麦・てん菜・馬鈴しょ・豆類・長いも)	農畜産業の環境保全	【環境保全】 販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を10.6%増加	6.6%	14.2%	14.2%	17.5%	17.2%	102.8%	環境保全型農業に取り組む農業者の割合が10.9ポイント増加した。	石稜除去 7.3ha	3,545,850	1,587,000	-	-	1,958,850	平成19年12月4日		

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)	
						計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
上川	士別市 和寒町 剣淵町	士別放牧酪農研究会	飼料増産(牧草)	生産性向上	【飼料増産】 飼料自給率を地域平均値に対し10%増加	53.1%	56.8%	58.0%	59.0%	63.1%	59.0%	飼料自給率が地域平均値に対し5.9ポイント増加した。	雨降物整備6,890m 雑用水施設整備14基 野草地整備24.4ha	9,397,500	4,698,000	-	-	4,699,500	平成20年3月31日	集約放牧により放牧地を有効利用することができた。 放牧期間中は乳量増加が見られたが、舎飼い期間での乳量の低下があったため、舎飼い期間の1頭毎の給与管理(乳量に見合う飼料給与)を徹底し、TDN自給率の向上に向け取組を実施する。 集約放牧を実施することにより、労働力が削減され時間のゆとりを見いだすことができ、経営意欲の向上や、新規酪農経営を目指している就農予定者へのアピールにも繋がることと考えられる。 集約放牧により、自給飼料による飼育というポリシーのもと経営実態の把握と方向性の確認をすることができた。 今後、寒冷地向きの放牧モデルを目指した取組を継続する。	TDN自給率は向上しつつあるが、当初掲げた目標値(63.1%)まで達成していないことから、目標達成へ向け引き続き取組を加速させていく必要がある。	
十勝	芽室町	芽室町	飼料増産(牧草)	生産性向上	【飼料増産】 単収を10.2%増加	2,450kg/ha	2,500kg/ha	2,933kg/ha	2,767kg/ha	2,700kg/ha	126.8%	単収が12.9%増加した。	追播種機(簡易草地更新機)1台	2,100,000	700,000	-	1,400,000	-	平成19年7月19日			
根室	別海町	FKSコントラクター組合	飼料増産(牧草)	生産性向上	【飼料増産】 受益面積を67.6%増加	513ha	614ha	609ha	875ha	860ha	104.3%	受益面積が70.6%増加した。	モアコンディショナー1台 スリッターカー1台	11,235,000	4,492,000	-	-	6,743,000	平成19年8月31日			
根室	別海町	宮城第2トラクター利用組合	飼料増産(牧草)	生産性向上	【飼料増産】 受益面積を75.6%増加	312ha	327ha	331ha	562ha	548ha	105.9%	受益面積が80.1%増加した。	ロールオーバー1台 ラッピングマシン1台 マニアスプレッター2台	14,889,000	5,765,000	-	-	9,124,000	平成19年8月31日			
十勝	鹿追町	鹿追町農業協同組合	飼料増産(飼料作物)	生産性向上	【飼料増産】 収穫作業の受託面積の増加12.8%	7,499ha	7,667ha	7,857ha	8,022ha	8,462ha	54.3%	収穫作業の受託面積が7%増加した。	コーンプランター1台 自走式フォレージハーベスター1台 自走式モアコンディショナー1台 リッターキ1台 マニアスプレッター2台	93,649,500	32,330,000	-	-	61,319,500	平成19年12月6日	本事業により導入された飼料用とうもろこし播種機での作業は効率的で、多用な肥料投入が設定でき、耕起・不耕起による圃場のどちらにも対応できることから、1番牧草収穫後に飼料用とうもろこし播種をして、同じ圃場で違う作物を2回収穫できるため、本年のように夏場の気温が高い年には、1番草と飼料用とうもろこしは栄養価の高いサイレージが確保でき、事業効果が高く発揮できた。 一方、牧草収穫作業は海外の穀物市場が依然高値で推移している状況が続く、飼料用とうもろこしの作付け面積増加は本年も継続されたことで牧草収穫関連機械の実績は昨年よりも微増となっている。 しかし、本年の飼料作物は猛暑により生育が経験が無いほど早く、コントラクター組織はその他作業と収穫作業が重なり、運行には苦慮したが、事業により導入された高性能機械の能力により良質な粗飼料が確保されたことは、事業の効果が発揮されたものと思われる。	春先からの天候不順で農作業が遅れ気味であったが、事業により導入された高性能機械の活躍により良質な粗飼料が確保された。今後関係機関が連携しながら農作業の効率化が望まれる。	
石狩	千歳市	新川地区麦収穫機械利用組合	土地利用型作物(小麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を46.8%低減	2.16/10a	-	1.69/10a	1.64/10a	1.15/10a	51.5%	燃油の使用量が24.1%低減した。	普通型コンバイン1台	28,350,000	9,450,000	-	-	18,900,000	平成20年3月31日	本事業により大型コンバインの導入し、目標年度(平成21年度)については、受益農家は当初計画(目標年:27戸)を上回る受託件数(30戸)となったが、受益面積は当初計画(目標年:190ha)に対し受託面積(165ha)であった。 また、収穫時の天候不順等により、大型コンバインでは収穫できない圃場が発生し、他の受託組織に5戸・30haを任せる事態となり、当組合としては、25戸・135haの実績となった。 また、受託面積には種子小麦(50ha)の面積を含み、一般小麦圃場と比較して小面積であるため、作業効率が低く、燃油使用量にも影響をおよぼしていると考えられる。 今後は、導入したコンバインの効率的利用を高めるため、大型コンバイン収穫に適する圃場の受託確保に向け、他の受託組織等との連携強化を図ることで、収穫・稼働日数の軽減を實踐することで、麦収穫にかかる燃油使用量の削減を強化して参りたい。	本事業の実施により、麦収穫に係る燃油使用量は計画時に比べ確実に低減されているが、目標年度は天候不順だったこともあり、目標値を達成することができなかった。 受託戸数は目標に達しているものの受託面積が目標を下回っていることから、受益面積が目標値に達するよう、他の受託組織等との連携を強化するよう指導する。	

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)
						計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
石狩	石狩市	正利冠機械共同利用組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を37.2%低減	34.4/t	—	30.5/t	30.3/t	21.6/t	32.0%	燃油の使用量が11.9%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 2台	5,580,000	2,790,000	—	—	2,790,000	平成20年3月26日	平成20年3月に導入した「穀物遠赤外線乾燥機」の稼働により、平成19年と比較し、乾燥に係る燃油(灯油)使用料を11.9%削減した。 農業資材等の高騰により農家の収入が圧迫される中、燃油の使用料を削減できたことは、所得確保の観点から大きな効果と考える。 今後、新たに導入した乾燥機の能力を最大限に引き出すため、受益者全員がマニュアルどおりの整備と点検を徹底するとともに、安全で無駄のない運転に努め、さらなる燃油使用量の削減を図る。 (最終目標:平成19年実績から37.2%減の21.62/t)	本事業の実施により、米の乾燥に係る燃油使用量は計画時に比べ低減されたが、目標値を達成することができなかった。 受益面積は目標に達していることから、導入した乾燥機の能力を最大限に引き出されるよう、関係機関と連携しながら、省エネマニュアルの実践、利用体制の見直し等について指導する。
石狩	当別町	当別町水稲採種組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を19.4%低減	19.7/t	—	16.0/t	14.7/t	15.9/t	131.6%	燃油の使用量が25.4%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 12台	24,640,812	12,320,000	—	—	12,320,812	平成20年3月31日		
檜山	せたな町	愛知第2地区機械利用組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を21.7%低減	23.5/t	—	21.3/t	25.1/t	18.4/t	-31.4%	燃油の使用量が6.8%増加した。	穀物遠赤外線乾燥機 12台	39,900,000	19,950,000	—	—	19,950,000	平成20年3月20日	低温・日照不足の影響により水稲については作況指数「92」の軽不良となり収量・品質とも大変厳しい状況となった。 また、計画策定時の平均受入水分を24%とし設定していたが、品質不良により、同センターにおける本年の受入平均水分は30.42%と6.42ポイント高めで推移したことも併い出来高に対し燃料消費量が6.72ポイント増となった。 計画達成に向けて、22年度操業開始にあたり集塵ファンの容量を大型化し、より効率を高め使用燃料の低減に努めたく施設の機械を一部改良を予定している。	平成21年度は低温と日照不足の影響により、檜山管内の作況指数は92となり、特にせたな町を含む檜山北部は檜山南部に比べても更に作柄が悪かったために、原料受け入れ水分が計画より高くなり、乾燥機利用に係る燃油の使用量が計画時よりも多くなる結果となった。 しかし、利用初年目でトラブルのあった昨年でも9.25%の削減が出来ていたことから、今年作であれば十分に目標が達成可能であったことが予想され、今後とも施設の適正利用により乾燥機利用に係る燃油の使用量の低減に努める。
後志	留寿都村	留寿都村大豆生産機械利用組合	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.2%低減	1.97/t/10a	—	1.61/t	1.52/t	1.67/t/10a	150.0%	燃油の使用量が22.8%低減した。	普通型コンバイン 1台	12,694,500	4,231,000	—	—	8,463,500	平成20年3月28日		
空知	長沼町	長沼町28区営農集団	土地利用型作物(小麦・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を18.2%低減	2.21/10a	—	1.9/t	1.9/t	1.81/10a	75.0%	燃油の使用量が13.6%低減した。	普通型コンバイン 1台	22,400,000	7,466,000	—	—	14,934,000	平成20年3月12日	省エネマニュアルの実践により、計画時から見ると13.7%の燃油使用量の削減が図られたが目標削減率18.2%には至らなかった。 稼働面積は導入初年度対比7.2%程度増加しているが、大豆の受益面積は達成されていない。 受益面積達成に向けた生産調整の強化及び輪作を進めるとともに、省エネマニュアルの実践を行い燃油使用量の削減に努める。	小麦の作付面積は、目標面積を上回っているが、大豆については下回っていることから、輪作体系等により作付面積を確保する必要がある。 また、コンバインの燃油使用量が目標を達成していないことから、省エネマニュアルの実践により燃油使用量の削減に努めるべきである。
空知	新十津川町	上大和第一ラクター利用組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を11.1%低減	32.4/t	—	28.9/t	31.4/t	28.8/t	27.8%	燃油の使用量が3.1%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 8台	19,486,000	9,743,000	—	—	9,743,000	平成20年3月17日	遠赤は目標達成率27.8%であるが、2段階乾燥等により燃料を多く消費した傾向があるが、今後は刈取時の天候等の状況を十分に把握し、低水分時に刈り取りをし乾燥ができるようにしていきたい。 田植機は目標達成率66.6%であるが春先の天候不順により圃場が乾いた形で耕起できず田植時には、ぬかるみがあり燃料を多く消費した傾向があるが、今後は圃場管理に細心な注意を払い、低燃費の田植を実現したい。 受益面積については地力増進のためえん麦を蒔いているものが目標は達成している。	穀物遠赤外線乾燥機については、平成21年度は収穫時の天候不良により乾燥に時間を要し灯油使用量の削減は目標を達成できなかったが、平成20年度は概ね目標どおりの実績となっており、刈り取り時の天候に十分配慮する必要がある。 また、田植機については、目標面積を補え付けられているものの春先の天候不順により圃場が乾いた形で耕起できなかったことから、燃油使用量は目標を達成していないことから、ほ場管理の改善を図る必要がある。
空知	新十津川町	上大和第一ラクター利用組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を10.0%低減	1.01/10a	—	0.961/10a	0.941/10a	0.91/10a	60.0%	燃油の使用量が6%低減した。	省エネ機構付き田植機 3台	8,997,000	2,999,000	—	—	5,998,000			

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)
						計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
空知	新十津川町	花月第一機械利用組合	土地利用型作物(水稻)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を10.3%低減	28.2/t	—	26.7/t	27.0/t	25.3/t	41.4%	燃油の使用量が4.3%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 8台	13,596,000	6,798,000	—	—	6,798,000	平成20年3月17日	遠赤は目標達成率41.4%であるが、2段乾燥等により燃料を多く消費した傾向があるが、今後は刈取時の天候等の状況を十分に把握し、低水分時に刈り取りをし乾燥ができるようにしていきたい。 受益面積については地力増進のためえん麦を蒔いているが目標は達成している。	作付面積及び施設利用量は目標どおりとなっているが、平成21年度は収穫時の天候不良により乾燥に時間を要したことから燃油使用量は目標に達していない。 収穫時の天候状況の把握に努め適期刈り取りにより燃油使用量の節減を図る必要がある。 また、乾燥機の収支が2年続けてマイナスとなっていることから、収支の均衡に努める必要がある。
空知	奈井江町	袋地機械利用組合	土地利用型作物(水稻)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を20.0%低減	4.0/10a	—	4.90/10a	4.5/10a	3.2/10a	-62.5%	燃油の使用量が12.5%増加した。	普通型コンバイン 1台	13,167,000	4,389,000	—	—	8,778,000	平成20年3月24日	受益面積及び収益性は目標を達成することを確保しているものの、利用量はいもち病等で目標達成できなかった。 加えて、7月8月の低温日照不足、さらには長雨とあって、収穫期が延びて乾燥機の稼働時間が長くなり、燃料消費が計画を下回った。 しかしながら、平年時の収穫期と平年作況であれば計画を達成することができると考えられる。	受益面積は計画よりやや下回っている状況。 コンバインの燃油使用量は収穫時の長雨等の影響で刈り取り期間が長くなり燃油軽減に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い目標の達成を期待する。
空知	奈井江町	瑞穂農場共同利用組合	土地利用型作物(水稻)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を14.8%低減	21.2/t	—	22.7/t	24.6/t	18.0/t	-106.3%	燃油の使用量が16.0%増加した。	穀物遠赤外線乾燥機 2台	5,292,000	2,646,000	—	—	2,646,000	平成20年3月24日	受益面積及び収益性は目標を達成することを確保しているものの、利用量はいもち病等で目標達成できなかった。 加えて、7月8月の低温日照不足、さらには長雨とあって、収穫期が延びて乾燥機の稼働時間が長くなり、燃料消費が計画を下回った。 しかしながら、平年時の収穫期と平年作況であれば計画を達成することができると考えられる。	受益面積は計画を上回る実績となっているが、乾燥機の利用実績については平成21年度は7月8月の低温日照不足、さらには長雨ともいもち病等で目標達成に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い目標の達成を期待する。
空知	奈井江町	蔵島ライスセンター	土地利用型作物(水稻)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.2%低減	17.1/t	—	18.9/t	18.2/t	14.5/t	-42.3%	燃油の使用量が6.4%増加した。	穀物遠赤外線乾燥機 1台	1,890,000	945,000	—	—	945,000	平成20年3月24日	受益面積及び収益性は目標を達成することを確保しているものの、利用量はいもち病等で目標達成できなかった。 加えて、7月8月の低温日照不足、さらには長雨とあって、収穫期が延びて乾燥機の稼働時間が長くなり、燃料消費が計画を下回った。 しかしながら、平年時の収穫期と平年作況であれば計画を達成することができると考えられる。	受益面積や乾燥機の利用面積は計画よりやや下回っている状況。 乾燥機の燃油使用量は収穫時の長雨等の影響で刈り取り期間が長くなり燃油軽減に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い目標の達成を期待する。
空知	北竜町	恵岱別ライスセンター	土地利用型作物(水稻)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を18.3%低減	21.9/t	—	16.9/t	23.2/t	17.9/t	-32.5%	燃油の使用量が5.9%増加した。	穀物遠赤外線乾燥機 10台	25,095,000	12,547,000	—	—	12,548,000	平成20年3月31日	目標削減等達成の為、刈り取り期などを構成員で協議し、刈り取り時の水分を出来るだけ低くする取り組みが出来た。 しかし、天候により目標が達成出来ない年もあり、今後、目標削減率達成の為、充分に注意をはらってきたい。	水稻の作付面積は、計画どおりの作付となっているが、平成21年度は7月以降の降雨等の影響で乾燥機や燃油使用量も20年度は計画を上回っていたが、平成21年度は刈り取り時の雨天等による気象の影響で利用実績や燃油使用量が目標を大きく下回っている。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い目標の達成を期待する。
空知	滝川市	滝川市江部乙町水稻採種組合	土地利用型作物(水稻)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を11.5%低減	17.83/t	—	14.29/t	14.11/t	15.78/t	181.5%	燃油の使用量が22.8%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 26台	60,858,000	30,429,000	—	—	30,429,000	平成20年3月19日		
空知	深川市	栄久宮農業団	土地利用型作物(水稻・小麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.1%低減	25.1/t	—	19.0/t	17.8/t	21.3/t	191.6%	燃油の使用量が29.1%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 10台	26,250,000	12,674,000	—	—	13,576,000	平成20年3月28日		
空知	深川市	彩利用組合	土地利用型作物(水稻・小麦・そば)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.1%低減	19.2/t	—	15.06/t	17.6/t	16.3/t	53.8%	燃油の使用量が8.3%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 2台	4,200,000	2,070,000	—	—	2,130,000	平成20年3月28日	農業を取り巻く情勢は、米をはじめとする農畜産物価格の低迷や輸入農産物の増加などによる農業所得の減少、加えて農業従事者の高齢化や農家戸数の減少、特に原油の価格が高騰し燃油量の削減が求められている状況で、加熱式乾燥機から赤外線乾燥機の導入により燃油量の削減は基より品質の向上を図る事が出来た。	水稻、そば、小麦とも作付面積は目標を達成しているが、平成21年度は7月以降の降雨等の影響で乾燥機に時間を要し燃油使用量は目標を達成できなかった。
空知	沼田町	(有)HJYさくら	土地利用型作物(水稻・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を13.2%低減	3.8/10a	—	3.30/10a	2.70/10a	3.3/10a	220.0%	燃油の使用量が28.9%低減した。	普通型コンバイン 1台	13,125,000	4,166,000	—	—	8,959,000	平成20年3月27日		
空知	南幌町	(有)エイム	土地利用型作物(水稻)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を12.3%低減	0.578/10a	—	0.512/10a	0.508/10a	0.507/10a	98.6%	燃油の使用量が12.1%低減した。	高速田植機 1台	2,940,000	933,000	—	—	2,007,000	平成20年3月17日		

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)	
						計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
空知	由仁町	上岩内朝日機械利用組合	土地利用型作物(水稻・小麦・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を26.2%低減	26.3/t	-	21.1/t	20.3/t	19.4/t	87.0%	燃油の使用量が22.8%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 5台	14,568,750	6,699,000	-	-	7,869,750	平成20年3月16日	コンバインの共同利用及び高速収穫が可能になったことにより、作業時間の短縮が図られ収穫に係る燃油を削減することができた。 今後より効果的に収穫作業を行うよう、オペレータの作業技術向上をはじめ、刈り取り順番及び刈り取り作業を計画的に実施。また農業機械の省エネルギーを実施して、燃料使用量の低減に努めたい。	対象作物の作付面積やコンバインの利用面積と燃油使用量及び乾燥機の利用量は計画を上回る実績となっている。 なお、乾燥機の燃油使用量について目標をやや下回っている状況にあるが、年々使用量が削減されてきていることから目標達成を期待する。	
空知	由仁町	上岩内朝日機械利用組合	土地利用型作物(水稻・小麦・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を10.4%低減	2.97/10a	-	2.92/10a	2.28/10a	2.66/10a	222.6%	燃油の使用量が23.2%低減した。	普通型コンバイン1台	13,000,000	4,333,000	-	-	8,667,000		遠赤外線乾燥機については、機械性能を生かす燃油削減が年々図られており、概ね目標削減率(26.2%)に近づくことができたが、平成21年の削減率は22.3%(達成率86.96%)と目標を上回ることができなかった。 今後は、適期刈り取りや乾燥効率の向上を図り、目標達成に努めていきたい。		
空知	由仁町	(有)豊作会農園	土地利用型作物(水稻・小麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を16.4%低減	18.3/t	-	17.9/t	16.3/t	15.3/t	66.7%	燃油の使用量が10.9%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 4台	9,749,500	4,377,000	-	-	5,372,500	平成20年3月16日	遠赤外線乾燥機の導入により、既存施設と比較して乾燥性能の向上により燃油削減が年々図られているが、平成21年は基盤整備(国営事業)の施工に伴い小麦の乾燥が多く、収穫期の降雨の影響によって水分が高い状態で乾燥しなければならない状況もあり、平成21年の削減率は10.9%(達成率66.67%)と目標削減率の16.4%を達成することができなかった。 基盤整備完了後は水稻を作付けする予定であり、今後は適期刈り取りによる低水分収穫を実施するとともに、乾燥効率の向上を図り目標達成に努めていきたい。	平成21年度の作付面積は基盤整備施工に伴い確保できなかったが、乾燥機の処理量については委託等による受入を行ったことから目標量を確保している。水稻・小麦とも収穫時の降雨により水分の高い状態での乾燥となり燃油使用量の目標を達成できなかった。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い目標の達成を期待する。	
空知	由仁町	西三川小麦採種組合	土地利用型作物(水稻・小麦・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を13.9%低減	26.7/t	-	19.5/t	19.6/t	23.0/t	191.9%	燃油の使用量が26.6%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 5台	10,368,960	5,184,000	-	-	5,184,960	平成20年3月16日			
空知	岩見沢市	北斗協和ライスセンター	土地利用型作物(水稻・小麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を10.8%低減	19.4/t	-	17.9/t	22.6/t	17.3/t	-152.4%	燃油の使用量が16.5%増加した。	穀物遠赤外線乾燥機 3台	6,844,950	3,422,000	-	-	3,422,950	平成20年3月17日	小麦の適期刈取を実施するためのほ場管理を徹底し、刈取の効率化を図ったが、適期刈取時の長雨、低温による穂発芽及び赤かびの発生により製品調製に時間を要し、燃料消費節減にいたらなかった。 気象情報の収集を強化し、更なるほ場管理を徹底し、適期刈取の実践による燃油の低減を図る。	水稻・小麦ともほぼ計画どおりの作付面積を確保しているが、天候等(低温・長雨や病気等)の影響で収穫量が確保されないことや水稻・小麦とも高水分での乾燥調製となり、燃油使用量の削減に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い、目標の達成を期待する。	
空知	岩見沢市	栗沢町北斗共同センター	土地利用型作物(水稻・小麦・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を10.5%低減	23.9/t	-	22.2/t	21.9/t	21.4/t	79.2%	燃油の使用量が8.4%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 4台	10,877,000	5,438,000	-	-	5,439,000	平成20年3月17日	小麦の適期刈取を実施するためのほ場管理を徹底し、刈取の効率化を図ったが、適期刈取時の長雨、低温による穂発芽及び赤かびの発生により製品調製に時間を要し、燃料消費節減にいたらなかった。 気象情報の収集を強化し、更なるほ場管理を徹底し、適期刈取の実践による燃油の低減を図る。	水稻・小麦・大豆とも計画以上の作付面積を確保しているが、天候等(低温・長雨や病気等)の影響で水稻・小麦の収穫量が確保されないことや高水分での乾燥調製となり燃油使用量の削減に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い、目標の達成を期待する。	
空知	岩見沢市	横川右岸地区農業近代化推進協議会	土地利用型作物(水稻・小麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を10.4%低減	17.3/t	-	16.5/t	20.7/t	15.5/t	-188.9%	燃油の使用量が19.6%増加した。	穀物遠赤外線乾燥機 3台	16,061,640	7,833,000	-	-	8,228,640	平成20年3月17日	小麦の適期刈取を実施するためのほ場管理を徹底し、刈取の効率化を図ったが、適期刈取時の長雨、低温による穂発芽及び赤かびの発生により製品調製に時間を要し、燃料消費節減にいたらなかった。 気象情報の収集を強化し、更なるほ場管理を徹底し、適期刈取の実践による燃油の低減を図る。	水稻・小麦ともほぼ計画どおりの作付面積を確保しているが、天候等(低温・長雨や病気等)の影響で収穫量が確保されないことや水稻・小麦とも高水分での乾燥調製となり燃油使用量の削減に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い、目標の達成を期待する。	

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)			完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)		
						計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)				達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他
空知	岩見沢市	(有)東センター	土地利用型作物(水稲・小麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を11.0%低減	24.5/t	—	18.8/t	24.8/t	21.8/t	-10.4%	燃油の使用量が1.2%増加した。	穀物遠赤外線乾燥機 3台	8,543,000	4,271,000	—	—	4,272,000	平成20年3月17日	小麦の適期刈取を実施するためのほ場管理を徹底し、刈取の効率化を図ったが、適期刈取時の長雨、低温による穂発芽及び赤かびの発生により製品調整に時間を要し、燃料消費節減にいたらなかった。 気象情報の収集を強化し、更なるほ場管理を徹底し、適期刈取の実践による燃油の低減を図る。 小麦の委託面積が伸びないため施設利用量の目標から下回っている。今後、地域の委託面積を増やすために導入施設のPRを実施し、面積を増やす。	水稲はほぼ計画どおりの作付面積となっているが、小麦の作付面積が計画の半分となっており、作付面積の確保が課題となっている。また、天候等(低温・長雨や病気等)の影響で収穫量が確保されないことや水稲・小麦とも高水分での乾燥調整となり燃油使用量の削減に至っていない。 今後、小麦の作付面積の確保や天候等に対応した栽培管理を行い、目標の達成を期待する。
空知	岩見沢市	豊里農業経営活性化協議会水田輪	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を27.4%低減	1.79/10a	—	1.12/10a	1.29/10a	1.30/10a	102.1%	燃油の使用量が27.4%低減した。	水稲直播機 1台	4,116,000	2,058,000	—	—	2,058,000	平成20年3月17日		
空知	岩見沢市	(農)自協共同組合	土地利用型作物(水稲・小麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を11.0%低減	20.0/t	—	14.3/t	19.4/t	17.8/t	26.8%	燃油の使用量が3.0%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 1台	2,762,000	1,381,000	—	—	1,381,000	平成20年3月17日	小麦の適期刈取を実施するためのほ場管理を徹底し刈取の効率化を図ったが適期刈取時の長雨、低温による穂発芽及び赤かびの発生により製品調整に時間を要し燃料消費節減にいたらなかった。 気象情報の収集を強化し更なるほ場管理を徹底し適期刈取の実践による燃油の低減を図る。 構成員自らの面積と委託面積を含め乾燥施設の目標利用量の達成を目指す。	水稲・小麦とも計画以上の作付面積を確保しているが、天候等(低温・長雨や病気等)の影響で水稲・小麦の収穫量が確保されないことや高水分での乾燥調整となり燃油使用量の削減に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い目標の達成を期待する。
空知	岩見沢市	HP生産組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を27.4%低減	1.79/10a	—	1.41/10a	0.77/10a	1.30/10a	207.8%	燃油の使用量が56.9%低減した。	水稲直播機 1台	4,116,000	2,058,000	—	—	2,058,000	平成20年3月17日		
空知	岩見沢市	(農)岐阜ライオンセンター利用組合	土地利用型作物(小麦・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を10.3%低減	24.2/t	—	22.8/t	21.2/t	21.7/t	120.2%	燃油の使用量が12.4%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 4台	14,196,000	7,098,000	—	—	7,098,000	平成20年3月17日	小麦の適期刈取を実施するためのほ場管理を徹底し刈取の効率化を図ったが適期刈取時の長雨、低温による穂発芽及び赤かびの発生により製品調整に時間を要し燃料消費節減にいたらなかった。 気象情報の収集を強化し更なるほ場管理を徹底し適期刈取の実践による燃油の低減を図る。構成員自らの面積と委託面積を含め乾燥施設の目標利用量の達成を目指す。	水稲・小麦とも計画以上の作付面積を確保しているが、天候等(低温・長雨や病気等)の影響で水稲・小麦の収穫量が確保されないことや高水分での乾燥調整となり燃油使用量の削減に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い目標の達成を期待する。
空知	岩見沢市	(農)岐阜ライオンセンター利用組合	土地利用型作物(小麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を26.2%低減	2.52/10a	—	2.23/10a	3.29/10a	1.86/10a	-116.7%	燃油の使用量が30.6%増加した。	普通型コンバイン 1台	32,465,000	10,821,000	—	—	21,644,000	平成20年3月17日	小麦の適期刈取を実施するためのほ場管理を徹底し刈取の効率化を図ったが適期刈取時の長雨、低温による穂発芽及び赤かびの発生により製品調整に時間を要し燃料消費節減にいたらなかった。 気象情報の収集を強化し更なるほ場管理を徹底し適期刈取の実践による燃油の低減を図る。構成員自らの面積と委託面積を含め乾燥施設の目標利用量の達成を目指す。	水稲・小麦とも計画以上の作付面積を確保しているが、天候等(低温・長雨や病気等)の影響で水稲・小麦の収穫量が確保されないことや高水分での乾燥調整となり燃油使用量の削減に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い目標の達成を期待する。
空知	岩見沢市	毛陽農産組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を23.4%低減	0.77/10a	—	0.66/10a	0.60/10a	0.59/10a	96.6%	燃油の使用量が22.6%低減した。	省エネ機構付き田植機 1台	3,464,000	1,154,000	—	—	2,310,000	平成20年3月17日		
空知	岩見沢市	西川直播組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を21.8%低減	1.79/10a	—	1.57/10a	1.38/10a	1.40/10a	105.1%	燃油の使用量が22.9%低減した。	水稲直播機 1台	4,178,000	2,089,000	—	—	2,089,000	平成20年3月17日		
空知	三笠市	三笠西部穀類乾燥センター利用組合	土地利用型作物(小麦)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を18.5%低減	21.1/t	—	14.1/t	20.6/t	17.2/t	12.8%	燃油の使用量が2.4%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 2台	8,450,400	4,225,000	—	—	4,225,400	平成20年3月17日	平成21年度においては、7月上旬～8月上旬にかけての長雨・低温により小麦においては穂発芽・赤かびの発生の懸念から水分量の多い麦を刈取ったことにより乾燥に時間を要した。 農業機械の省エネ利用マニュアルにおいて穂発芽・赤かびの発生の懸念から水分量の多い麦を刈取ったことから、乾燥機の燃費使用量の削減に至っていない。 今後長期の気象状況の把握に努め更なる燃油の節減を実施する。	小麦の作付面積や乾燥機の利用実績は目標以上となっているが、平成21年度は7月上旬～8月上旬にかけての長雨・低温により麦の発生懸念から水分量の多い麦を刈取ったことにより乾燥機の燃費使用量の削減に至っていない。 今後、天候等に対応した栽培管理を行い目標の達成を期待する。
上川	旭川市	東旭川農業協同組合	土地利用型作物(水稲・小麦・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を22.3%低減	19.7/t	—	12.2/t	8.3/t	15.3/t	259.1%	燃油の使用量が57.9%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 5台	30,765,000	13,625,000	—	—	17,140,000	平成20年3月19日		
上川	旭川市	日の出生産組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を16.1%低減	1.55/10a	—	0.94/10a	0.95/10a	1.30/10a	240.0%	燃油の使用量が38.7%低減した。	水稲直播機 1台	3,343,200	1,671,000	—	—	1,672,200	平成20年3月17日		
上川	旭川市	あさひかわ直播研究会	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.8%低減	1.9/10a	—	0.70/10a	0.70/10a	1.6/10a	400.0%	燃油の使用量が63.2%低減した。	水稲直播機 1台	3,343,200	1,671,000	—	—	1,672,200	平成20年3月17日		
上川	旭川市	永山ピーンズ組合	土地利用型作物(小麦・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.7%低減	14.0/t	—	5.8/t	6.9/t	11.8/t	322.7%	燃油の使用量が50.7%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 1台	3,276,000	1,560,000	—	—	1,716,000	平成20年3月17日		

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)		
						計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他	
上川	旭川市	明友機械利用組合	土地利用型作物(水稲・小麦・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を20.9%低減	18.95/t	—	14.75/t	19.58/t	14.98/t	-15.9%	燃油の使用量が3.3%増加した。	穀物遠赤外線乾燥機 3台	6,687,450	3,343,000	—	—	3,344,450	平成20年3月14日	平成20年については、好天にも恵まれ、収穫適期に効率よく収穫、乾燥を行い、目標値14.98t/tに対し、14.75t/tとの成果を収めることが出来た。 平成21年については、降雨により収穫適期に効率よく収穫することが出来なかったことにより、受け入れ水分が高い状態での乾燥や、乾燥機を満量にすることなく稼働を繰り返すなど、非効率的な稼働状況となり、結果的に燃油使用量の低減を図ることが出来なかった。 平成22年以降は、組合内で省エネマニュアル研修を開催し、組合員同士の連携を更に図ることにより、適期刈り取りの徹底や効率的な乾燥利用を行い、天候の影響に左右されないよう燃油消費量低減に取り組みます。	導入1年目(H20)の実績から導入機器の燃油使用量は十分目標を達成できると考えられるため、天候や効率的な稼働により来年度は目標を達成するものと期待する。	
上川	名寄市	風連町6区生産組織組合	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.7%低減	4.15/10a	—	3.80/10a	2.73/10a	3.51/10a	218.5%	燃油の使用量が34.2%低減した。	普通型コンバイン 1台	11,550,000	3,850,000	—	—	7,700,000	平成20年3月28日			
上川	名寄市	風連東コンバイン利用組合	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を18.1%低減	4.03/10a	—	2.80/10a	2.90/10a	3.30/10a	154.8%	燃油の使用量が28.0%低減した。	普通型コンバイン 1台	11,970,000	3,990,000	—	—	7,980,000	平成20年3月28日			
上川	鷹栖町	鷹栖町共栄第3ライスセンター	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.0%低減	29.3/t	—	29.1/t	28.6/t	24.9/t	15.9%	燃油の使用量が2.4%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 8台	20,013,000	10,006,000	—	—	10,007,000	平成20年3月15日	目標年度である平成21年までに燃油使用量を29.3t/haから24.9t/ha(4.4t/ha削減)に達成することができなかった。 要因としては、くず米等の製品ロスが多くあったことが考えられる。 次年度以降からも、再度マニュアルを徹底し燃油使用量削減に努めていく。	生産年ごとの天候や製品ロスの発生による燃油使用量の増は避けられない面もあるが、計画年と比べ0.7t/haしか燃油使用量を減少させていない理由を明らかにしマニュアルの徹底を指導するだけでなく、構成員の自発的な工夫を指導していきたい。	
上川	愛別町	愛郷生産組合	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.2%低減	38.1/t	—	7.13/t	17.1/t	32.3/t	362.9%	燃油の使用量が55.2%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 1台	1,600,000	800,000	—	—	800,000	平成20年3月18日			
留萌	増毛町	増毛町農作業委託組合	畑作物・地域特産物(そば・大豆)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.2%低減	2.37/10a	—	2.10/10a	1.93/10a	2.01/10a	122.2%	燃油の使用量が18.6%低減した。	普通型コンバイン 1台	11,850,000	3,950,000	—	—	7,900,000	平成20年3月12日			
留萌	小平町	小平直播研究会	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を15.4%低減	15.6/10a	—	13.0/10a	13.7/10a	13.2/10a	79.2%	燃油の使用量が12.2%低減した。	水稲直播機 1台	4,179,000	1,990,000	—	—	2,189,000	平成20年3月28日	水稲直播機の活用により、田植作業までの燃料使用量の低減が図られ、おおむね目標を達成しているとともに、育苗作業が省力化されハウス野菜作業への労働力配分が可能となるなどの成果があった。 今後、規模拡大により20haを超える水稲作付面積に対応していくには育苗が労働力・コスト的にもネックであることから、直播の導入が必要だが、21年度には受益者のうち一人が職の撤去で廃耕せざるを得なくなったことなど課題も多く、栽培面積は思うように伸びていない。 今後、鳥害対策(テグス等)の実施や直播栽培技術の向上により作付面積の拡大を図っていかねばならないが、さらなる直播の拡大には、食味のよい直播用品種の早期開発が望まれる。	水稲直播機の導入により、田植作業までの作業が省力化され燃油使用量の削減につながった。 しかし、目標年においては、鳥害により廃耕された水田もあったことから、10a当たりの燃油使用量が増え成果目標の達成には至らなかったが、初年度において成果目標の数値を達成していたことを考えると、保守点検や作業工程の管理は「農業機械の省エネ利用マニュアル」及び農業機械の省エネチェックシート」を活用し、的確に実施されていることから、直播栽培技術の向上や鳥害対策を実施することにより、今後、成果目標を達成することは可能であると考える。	
留萌	苫前町	南香川地区利用組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を25.0%低減	60.20/t	—	32.62/t	30.99/t	45.15/t	194.1%	燃油の使用量が48.5%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 8台	34,950,000	17,285,000	—	—	17,665,000	平成20年3月21日			
留萌	苫前町	協伸利用組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を25.0%低減	30.90/t	—	26.14/t	22.64/t	23.18/t	106.9%	燃油の使用量が26.7%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 14台	44,000,000	22,000,000	—	—	22,000,000	平成20年3月21日			
留萌	苫前町	三溪上地区機械利用組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【土地利用型作物】 (原油高騰対策) 燃油の使用量を25.0%低減	30.80/t	—	26.32/t	23.01/t	23.10/t	101.2%	燃油の使用量が25.3%低減した。	穀物遠赤外線乾燥機 10台	37,800,000	18,900,000	—	—	18,900,000	平成20年3月21日			

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:北海道)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況							成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価				
					(平成16年)	(平成17年)	(平成18年)	(平成19年)	(平成20年)	(平成21年)	目標値 (平成21年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他			
倶知安町 (18-19)	(財)北海道農業開発公社	飼料基盤活用の促進	生産性向上	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%で維持された。	草地整備改良 4.87ha 飲雑用水施設 1,425m	8,584,000	4,292,000	-	-	4,292,000	平成19年3月31日					
																草地整備改良 5.54ha	3,260,000	1,630,000	-	-	1,630,000	平成20年3月31日			
清里町 (17-19)	(財)北海道農業開発公社	飼料基盤活用の促進	生産性向上	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%で維持された。	草地造成(△0.94ha) 草地整備(△2.95ha) 用排水施設(0.99ha)	3,509,000	1,754,000			1,755,000	平成18年2月24日					
																草地造成改良 0.94ha 草地整備改良 15.47ha	7,936,000	3,968,000	-	-	3,968,000	平成19年3月31日			
																	草地整備改良 5.62ha	2,878,000	1,439,000	-	-	1,439,000	平成20年3月31日		
本別町 (17-19)	(財)北海道農業開発公社	飼料基盤活用の促進	生産性向上	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%で維持された。	草地整備改良 21.03ha	12,265,000	6,132,000			6,133,000	平成18年3月1日					
																草地整備改良 8.29ha	13,476,000	6,738,000			6,738,000	平成19年3月31日			
																	草地整備改良 5.00ha	6,963,000	3,481,000	-	-	3,482,000	平成20年3月31日		
帯広市 (18-19)	(財)北海道農業開発公社	飼料基盤活用の促進	生産性向上	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%で維持された。	草地造成改良 2.13ha 草地整備改良 21.71ha 家畜保護施設 畜舎2棟 2,532.7㎡	274,208,000	137,104,000		9,387,250	127,716,750	平成18年11月14日					
																	草地造成改良 0.20ha 草地整備改良 15.89ha 用排水施設 2.40ha 隔障物整備 7,626.1m 飼料作物関連機械 サイレーンカッター 1台 モアコンディショナー 1台	34,260,000	17,130,000	-	-	17,130,000	平成20年3月31日		
別海町 (17-19)	(財)北海道農業開発公社	飼料基盤活用の促進	生産性向上	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%で維持された。	草地整備改良 △8.22ha 31.65ha 家畜保護施設整備 1棟 1,049.76m ² 家畜排せつ物処理施設 1棟 522m ² 牧場用機械施設整備 1台	120,987,000	60,493,000			60,494,000	平成18年3月31日					
																	草地整備改良 36.63ha 道路整備 129.09m	18,915,000	9,457,000	-	-	9,458,000	平成19年3月31日		
																		草地整備改良 26.07ha	11,180,000	5,590,000	-	-	5,590,000	平成20年3月31日	